

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 弘前大学医学部附属病院における子宮体癌治療の後方視的研究

研究の目的

近年、生活様式の変化により子宮体癌は増加傾向にあります。弘前大学附属病院産婦人科(以下、当科)においても治療を受ける方が増えてきています。本課題の目的は、当科において診療を行なった子宮体癌における患者さんの年齢、進行期、組織型、治療方法、予後について解析し、適切な治療や経過観察方法やについて検討を行い、今後の診療に役立てることです。

研究実施期間： 2023年4月7日 ~ 2025年3月31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2002年1月1日~2017年12月31日までの間、附属病院産婦人科を受診し、子宮体癌と診断され治療を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、以下の情報を標記研究課題実施のために利用します。

- 1) FIGO 進行期
- 2) 組織型・腹水細胞診
- 3) 年齢
- 4) 治療内容(手術・薬剤・放射線治療など)
- 5) 薬物療法の内容
- 6) 再発時期・部位
- 7) 予後

これらの情報を元に、子宮体癌の特徴に基づく予後(無増悪生存率、5年生存率)を統計学的に評価します。また、再発時期や部位からの適切な経過観察期間や方法を評価いたします。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	産婦人科・重藤 龍比古 連絡先 0172-39-5107/ t-shigeto@hirosaki-u.ac.jp
-------	---